

國民勤勞報國協力令施行規則中改正の件公布

國民勤勞報國協力令施行規則中改正の件は、昭和十八年五月二十日付官報を以て左の如く公布せられた。

國民勤勞報國協力令施行規則中改正の件公布

(昭和十八年五月二十日)
(厚生・文部省令第一號)

第四條第二項中「女子高等師範學校、」ノ下ニ「師範學校」ヲ加フ

厚生省職員共濟組合規則中改正の件等の公布

厚生省職員共濟組合規則中改正の件、厚生省職員共濟組合規則施行規程中改正の件及厚生省職員共濟組合規則第二十四條第二項但書の規定に依る疾病又は負傷の告示は昭和十八年五月六日付官報を以て左の如く公布せられた。

厚生省職員共濟組合規則中改正ノ件

(昭和十八年五月六日)
(厚生省令第十六號)

第三條第二號ヲ左ノ如ク改メ第三號ヲ削リ第四號ヲ第三號トシテ第五號ヲ第四號トス

本省局長

第八條中「(國民職業指導所ヲ除ク以下之ニ同ジ)」ヲ削リ同條第一號中「召集」ヲ「徵集」ニ改メ第二號ヲ左ノ如ク改ム

二 囑託員ニシテ手當年額千八百二十圓ヲ超ユル者

第八條ノ二 厚生部内ニ屬スル委任官、同待遇者及囑託員ニシテ俸給又ハ手當年額千八百二十圓ヲ超ユル者ハ組合令第二條ノ二ノ規定ニ依リ厚生大臣ノ承認ヲ得テ包括シテ組合員ト爲ルコトヲ得

前項ノ承認ヲ得ルニハ組合員トナルベキ者ノ二分ノ一以上ノ同意アルヲ要ス

第九條中「前條ノ」ヲ「第八條ノ」ニ、「前條」ヲ「本令第八條」ニ改メ同條ニ左ノ一項ヲ加フ

前條ノ規定ニ依ル職員ハ厚生大臣ノ承認アリタル日ヨリ組合員ト爲ルモノトス但シ厚生大臣ノ承認アリタル日後ニ於テ前條ノ職員ト爲リタル者ハ其ノ職員ト爲リタル日ヨリ組合員ト爲ルモノトス

第十條第一項第四號中「高等官又ハ同待遇者(主事タル高等官ノ待遇ヲ受クル者ヲ除ク)」ヲ「勅任官又ハ同待遇者」ニ、第五號中「組合令第一條但書及本令第八條但書」ヲ「組合令第一條但書(本令第八條ノ二ノ規定ニ依ル組合員ト爲ル場合ハ第二號ノ二ヲ除ク)及本令第八條但書(第八條ノ二ノ規定ニ依ル組合員ト爲ル場合ハ第二號ヲ除ク)」ニ改メ同條同項ニ左ノ一號ヲ加フ

六 第八條ノ二ノ規定ニ依ル組合員ニ付テハ其ノ四分ノ三以上ノ同意ニ依ル脱退ノ意思表示アリタル場合ニ於テ厚生大臣之ヲ承認シタル日

第十一條中「第八條ノ」ヲ「組合員タルベキ」ニ改ム

第十八條中第一項中「甲種組合員ニ在リテハ月俸ノ千分ノ一二・五、乙種組合員ニ在リテハ月俸ノ千分ノ九・四」ヲ「甲種組合員ニ在リテハ月俸ノ千分ノ十四、乙種組合員ニ在リテハ月俸ノ千分ノ十(第八條ノ二ノ規定ニ依ル組合員ニ在リテハ月俸ノ千分ノ二十)」ニ改メ同條第五項ヲ左ノ如ク改ム

組合員タル資格ニ變更アリタル場合ニ於テハ其ノ翌月分ヨリ掛金ヲ改定ス但シ其ノ變更ガ月ノ初日ナル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第二十四條第一項中「第十三條ノ療養費」ヲ「第十三條ノ療養費及第十四條ノ家族療養費」ニ、「入院」ヲ「病院又ハ診療所ヘノ收容」ニ改メ同條第二項ヲ左ノ如ク改ム

前項第四號乃至第六號ノ療養ハ組合ガ必要ト認メタル場合ニ限ル但シ第四號ノ療養ニ付厚生大臣ノ定ムル疾病又ハ負傷ニ依ル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第二十六條 削除
第二十七條 削除

第二十八條 療養ニ要スル費用ノ算定方法、療養ニ要スル費用ヨリ控除スル額、療養費ノ支給方法ハ厚生大臣之ヲ定ム

第二十九條中「療養費」ヲ「療養費又ハ家族療養費」ニ改ム
第三十四條第一項中「職員健康保險」ヲ削ル

第四十一條ノ二 組合令第三十一條ノ命令ヲ以テ定ムル者トハ本令第八條ノ二ノ規定ニ依ル組合員トス

附則

本令ハ昭和十八年四月一日ヨリ之ヲ適用ス

本令施行前ニ交付シタル組合員證ハ本令施行後ト雖モ之ヲ使用スルコトヲ妨ゲズ

本令第八條ノ二ノ規定ニ依リ組合員ト爲リタル者ハ組合令第十四條第一項及同令第二十三條ノ二ノ規定ノ適用ニ付テハ組合加入前引續キ在官又ハ在職シタル期間組合員タリシモノト看做ス

厚生省職員共済組合員証

(表紙内面)

注意事項

- 一 組合醫に就き診療を受けるときは必ず此の證を組合醫に提出して必要事項の記載を受けて下さい。
- 二 同一の疾病又は負傷については受診開始から六月を過ぎると其の後の療養は受けられません然し結核性疾病のときは一年迄延長して受けられます。
- 三 組合藥劑師から藥劑の支給を受けるときは組合醫に處方箋を書いてもらひ之を組合藥劑師に提出して下さい。
- 四 療養を受け又は藥劑の支給を受けたときは其の都度自己の負擔分だけの金を其の組合醫又は組合藥劑師に支拂つて下さい。
- 五 組合員の資格がなくなつたときは遅滞なく此の證を部局長に返して下さい。
- 六 此の證の記載欄に餘白がなくなつたり此の證を毀損し又は滅失したときは直に其の旨を届出でて再交付を受けて下さい。
- 七 此の證の一頁の記載事項に變更があつた場合には直に部局長に差出して訂正を受けて下さい。
- 八 六月以上組合員である者の被扶養者が診療を受けるときは部局長に申出で家族診療券の交付を受けて下さい。

| | | | |
|----------------|-------|--------|--|
| 番 號 | | | |
| 組 合 員 ノ 氏 名 | | 男 女 | |
| 生 年 月 日 | | 年 月 日 | |
| 加入年月日 | 昭和 | 年 月 日 | |
| 部 局 | 名 稱 | | |
| | 所 在 地 | | |
| 昭和 年 月 日交付 | | | |
| 厚生省職員共済組合 印 | | | |

(二頁乃至五頁)

| 療 養 記 録 | | | | | |
|---------|-----|-----|------|----|----|
| 傷病名 | 開始日 | 終了日 | 終了事由 | 備考 | 認印 |
| | 年月日 | 年月日 | | | |
| | 年月日 | 年月日 | | | |
| | 年月日 | 年月日 | | | |
| | 年月日 | 年月日 | | | |
| | 年月日 | 年月日 | | | |
| | 年月日 | 年月日 | | | |
| | 年月日 | 年月日 | | | |
| | 年月日 | 年月日 | | | |
| | 年月日 | 年月日 | | | |

備考〔別掲様式参照〕

- 一 本證ハ縦約十三種横約九種ノ大サトシ左綴ト爲スベシ
- 二 組合員ガ男子ナルトキハ一頁ノ「男女欄」「女」ノ文字ヲ、女子ナルトキハ其ノ「男」ノ文字ヲ抹消スベシ
- 三 「療養記録」欄ハ之ヲ二面設ケ二頁ヲ以テ一面トスベシ
- 四 「療養記録」欄ノ事項ハ組合醫又ハ組合藥劑師ニ於テ之ヲ記載スルモノトス但シ組合醫又ハ組合藥劑師以外ノ者ニ就キ受ケタル療養ニ付テハ部局ニ於テ之ヲ記載スルモノトス
- 五 「療養記録」欄ノ記載ニ付テハ左ニ依ルベシ
 - イ 齒ニ付療養ヲ爲シタル場合ニ於テハ患齒ノ部位ヲモ「傷病名」欄ニ記載スベシ
 - ロ 「開始日」欄ニハ療養ヲ開始シタル年月日ヲ記載スベシ
 - ハ 「終了日」欄ニハ治療ノ期間滿了又ハ死亡ニ因リ療養ヲ終リタル年月日ヲ記載スベシ
 - ニ 「終了事由」欄ニハ治療ノ期間滿了、轉醫、死亡等ノ別ヲ記載スベシ
- ホ 結核性疾病ニ付組合令第十七條第一項ノ期間ヲ超エテ療養ヲ爲スニ至リタルトキハ「備考」欄ニ何年何月何日ヨリ延長給付ナル旨ヲ記載スベシ

ハ「認印」欄ニハ當該事項ノ記載ヲ爲シタル組合

醫又ハ組合藥劑師ニ於テ捺印スベシ但シ組合醫又ハ組合藥劑師以外ノ者ニ就キ受ケタル療養ニ付療養費ヲ支給スル場合ニ於テハ部局ノ係員捺印スベシ

ト 組合醫又ハ組合藥劑師以外ノ者ニ就キ受ケタル療養ニ在リテハ其ノ旨ヲ「備考欄」ニ記載スベシ

六 組合員證ヲ再交付スル場合ニ於テ其ノ組合員又ハ組合員タリシ者ガ現ニ療養ヲ受クルトキハ其ノ傷病名及其ノ傷病ニ付療養ヲ開始シタル年月日其ノ他必要ナル事項ヲ部局ニ於テ記載スベシ

七 組合令第九條ノ規定ニ依ル繼續給付ニ付届出アリタルトキハ部局長ハ部局ノ名稱、所在地ヲ抹消シ且一頁ノ餘白ニ繼續シテ給付ヲ受クルコトヲ得ル旨及繼續受給期間ヲ朱書シテ返付スベシ

厚生省職員共濟組合規則施行規程

中改正ノ件 (昭和十八年五月六日 厚生省訓令第八號)

第二條第二項ヲ削ル

第二條ノ二 組合員ハ被扶養者ヲ有スルトキ又ハ有スルニ至リタルトキハ被扶養者ノ職業、住所、氏名、生年月日及組合員トノ續柄ヲ記載シタル被扶養者調書ヲ部局長ニ提出スベシ

前項ノ記載事項ニ變更アリタルトキハ其ノ都度之ヲ

部局長ニ届出ツベシ

第二條ノ三 部局長ハ被扶養者調書ヲ編綴シ前條第二項ノ届出アリタル都度之ヲ整理スベシ部局長ニ於テ前條第一項ノ記載事項ニ變更アリタルコトヲ知リタルトキ亦同ジ

第二條ノ四 部局長ハ組合員ガ他ノ部局ニ轉シタルトキハ組合員寮帳及被扶養者調書ヲ新部局長ニ轉送スベシ

第三條中「前條ノ寮帳」ヲ「組合員寮帳及被扶養者調書」ニ改ム

第十一條ノ二 組合員又ハ其ノ被扶養者ハ組合ノ指定シタル醫師、齒科醫師(以下組合醫ト稱ス)又ハ藥劑師(以下組合藥劑師ト稱ス)ニ就キ療養ヲ受クベシ但シ特別ノ事情アル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第十一條ノ三 組合員ハ組合令第十四條ノ療養ヲ受ケントスルトキハ部局長ニ申出デ家族診療券ヲ交付ヲ受クベシ

前項ノ申出アリタルトキハ部局長ハ別記様式ニ依ル家族診療券ヲ交付スベシ

部局長ハ前項ノ家族診療券ヲ交付シタルトキハ被扶養者調書ニ診療券交付年月日其ノ他必要事項ヲ記載スベシ

第十二條第一項中「組合ノ指定シタル醫師又ハ齒科醫師(以下組合醫ト稱ス)」ヲ「組合醫」ニ、「提示」ヲ「提出」ニ改メ「其ノ都度」ヲ削リ同條第二項ヲ左ノ如ク改ム

組合員が組合藥劑師ニ就キ藥劑ノ支給ヲ受ケントスルトキハ組合醫ニ申出デ處方箋ノ交付ヲ受ケ組合藥劑師ニ之ヲ提出スベシ

第十三條中「組合員」ヲ「被扶養者」ニ、「部局長ノ承認書」及「承認書」ヲ「家族診療券」ニ改メ「被扶養者」ノヲ削リ同條ニ左ノ一項ヲ加フ

前條第二項ノ規定ハ被扶養者ガ組合藥劑師ニ就キ藥劑ノ支給ヲ受ケントスル場合ニ之ヲ準用ス

第十四條第一項ヲ左ノ如ク改メ同條第二項中「療養費」ヲ「療養費又ハ家族療養費」ニ改ム

組合員又ハ其ノ被扶養者ガ組合醫又ハ組合藥劑師ニ就キ療養ヲ受ケタル場合ニ於テハ組合ハ其ノ組合員又ハ被扶養者ガ當該組合醫又ハ組合藥劑師ニ對シ支拂フベキ療養ニ要シタル費用ニ付療養費又ハ家族療養費トシテ組合員ニ對シ支給スベキ額ノ限度ニ於テ組合員又ハ被扶養者ニ代リ當該組合醫又ハ組合藥劑師ニ對シ之ヲ支拂フモノトス

第十五條第一項中「療養費」ヲ「療養費又ハ家族療養費」ニ改メ「申請書」ノ下ニ「各月分ニ付翌月十日迄」ヲ加ヘ同條第二項中「就組合員證」ヲ「及組合員證又ハ家族診療券」ニ改ム

第十六條第一項第二號ヲ第三號トシ第一號ノ次ニ左ノ一號ヲ加フ

二 療養ヲ受ケントスル者被扶養者ナル場合ニ於テハ被扶養者ノ氏名、生年月及組合員トノ續柄

同條第二項各號ヲ左ノ如ク改ム

一 療養ヲ必要ト認ムル事由

二 病院又ハ診療所ヘノ收容ノ場合ニ在リテハ收容ノ期間

三 看護ノ場合ニ在リテハ看護ノ期間

第十七條 削除

第十八條 削除

第十九條 組合令第九條又ハ第十四條第二項ノ規定ニ依リ疾病又ハ負傷ニ關シ繼續シテ療養ヲ受ケントスルトキハ組合員ハ組合員證ト共ニ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル届書ヲ遲滞ナク部局長ニ提出スベシ

一 住所

二 療養ヲ受ケントスル者被扶養者ナル場合ニ於テハ被扶養者ノ氏名及組合員トノ續柄

三 組合脱退ノ年月日

四 組合脱退ノ際療養ヲ爲シタル者ノ氏名及住所

前項ノ規定ニ依リ組合員證ノ提出アリタル場合ニ於テ療養ヲ受ケントスル者組合員ナルトキハ部局長ハ之ニ繼續シテ給付ヲ受クルコトヲ得ル旨及繼續受給期間ヲ記載シ組合員ニ返付スベシ

第二十條第一項第四號ヲ左ノ如ク改ム

四 組合員ガ病院又ハ診療所ヘ收容セラレタルモノナルトキハ其ノ病院又ハ診療所ノ名稱、所在地、

收容年月日及期間並被扶養者アルトキハ其ノ氏名、生年月及組合員トノ續柄

第二十三條中「分娩費」ノ「」ヲ「分娩費又ハ配偶者分娩費」ニ改メ第二號ヲ第三號、第三號ヲ第四號トシ第一號ノ次ニ左ノ一號ヲ加フ

二 分娩シタル者配偶者ナルトキハ配偶者ノ氏名及

職業

附 則

本規程ハ昭和十八年四月一日ヨリ之ヲ適用ス

別記様式

| 第 號 | | 厚生省職員共済組合家族診療券 | | | |
|----------------|------|----------------|---------|---|---------|
| 組合員證ノ番號 | | 組合員ノ種別 | 甲 | 乙 | |
| 組合員ノ氏名 | | 組合員ト爲リタル日 | 昭和 | 年 | 月 日 |
| 組合員ノ勤務稱 | | 同 所 在 地 | | | |
| 組合員ノ名 | | 職 業 | | | |
| 療養ヲ受ケントスル者被扶養者 | 氏名 | 職 | 組合員トノ續柄 | 男 | 女 |
| | 生年月日 | | | | |
| 備 考 | | | | | |
| | 所在地 | | | | |
| | 昭和 | 年 | 月 | 日 | 交付 |
| | | | | | 部 局 長 印 |

備 考

一 「第 號」ニハ交付番號ヲ附スベシ

二 組合員ガ甲種ナルトキハ「組合員ノ種別」欄ノ「乙」ノ文字ヲ、乙種ナルトキハ其ノ「甲」ノ文字ヲ抹消スベシ

三 被扶養者ガ男子ナルトキハ「男女」欄ノ「女」ノ文字ヲ、女子ナルトキハ其ノ「男」ノ文字ヲ抹消スベシ

興亞鍊成所規程の公布

興亞鍊成所規程は昭和十八年五月四日付官報を以て左の如く公布せられた。

興亞鍊成所規程 (昭和十八年五月四日) (大東亞協會第十七號)

第一條 興亞鍊成所ニ入所シ鍊成ヲ受ケル者ハ興亞鍊成所生(以下所生ト稱ス)ト稱ス

第二條 所生ノ定員ハ大東亞大臣之ヲ定ム

第三條 興亞鍊成所ノ鍊成期間ハ三ヶ月トス

第四條 興亞鍊成所ノ鍊成綱領ハ大東亞大臣之ヲ定ム

第五條 興亞鍊成所ニ入所スヘキ者ハ專門學校卒業程度以上ノ學力ヲ有シ官衙、學校、會社又ハ團體ノ長ノ推薦シタル者ノ中ヨリ大東亞大臣ノ認可ヲ經テ所長之ヲ選定ス

第六條 所生ニハ別ニ定ムル所ニ依リ食費及旅費等ヲ給シ鍊成ニ必要ナル被服及物品ノ一部ヲ貸與ス

第七條 所長ハ所生ニシテ疾病其ノ他事故ニ因リ不適當ト認ムル者アルトキハ大東亞大臣ノ認可ヲ經テ退所セシムルコトヲ得

第八條 所生ニシテ所定ノ鍊成ヲ修了シタル者ニ對シテハ所長鍊成證書ヲ授與ス

第九條 本規程ニ定ムルモノノ外所生鍊成上必要ナル事項ハ大東亞大臣ノ認可ヲ經テ所長之ヲ定ム

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

昭和十六年閉令第八號ハ之ヲ廢止ス

〔參照〕

昭和十六年四月二日閉令第八號ハ從前ノ同規程ナリ

昭和十八年法律第二十一號農業保險法中改正法律施行日期日之件公布

法中改正法律施行日期日之件公布

昭和十八年法律第二十一號農業保險法中改正法律施行日期日之件は、昭和十八年五月十四日付官報を以て左の如く公布せられた。

昭和十八年法律第二十一號農業保險法中改正法律施行日期日之件

〔昭和十八年五月十三日〕 (勅令第四百十四號)

昭和十八年法律第二十一號ハ昭和十八年五月十五日ヨリ之ヲ施行ス

農業保險法施行令中改正ノ件公布

農業保險法施行令中改正の件は、昭和十八年五月十四日付官報を以て左の如く公布せられた。

農業保險法施行令中改正ノ件

〔昭和十八年五月十三日〕 (勅令第四百十五號)

農業保險法施行令中左ノ通改正ス

第一條、第二條第一項及第三條中「第一條第三項」ヲ「第一條第五項」ニ改ム

第五條第二項中「純保險料率及附加保險料率」ノ下ニ「竝ニ保險スベキ共濟責任」ヲ加フ

第五條ノ二 農業保險組合ノ保險金額ハ左ノ各號ニ掲グル金額トス

一 水稻ニ在リテハ自作地段當四十五圓及小作地段當三十五圓

二 桑葉ニ在リテハ段當三十圓

三 麥ニ在リテハ段當二十五圓

四 水稻ヲ耕作スル小作地ノ小作料ニ在リテハ段當十圓

農林大臣ノ指定スル地區ニ於テ特別ノ事情ニ因リ前項第一號ノ金額ニ依リ難キ場合ニ於テハ農業保險組合ハ同號ノ金額ノ範圍内ニ於テ農林大臣ノ指定スル金額ヲ以テ其ノ保險金額ト爲スコトヲ得

第五條ノ三 農業保險法第五十六條第一項ノ規定ニ依ル農業保險ノ保險料國庫負擔金ノ額ハ農業保險組合ノ組合員ガ第一條ノ農作物ノ收穫上ノ損失ニ關スル共濟責任ヲ保險ニ付スル爲支拂フベキ保險料中左ノ各號ニ掲グル金額トス

一 純保險料ニ付テハ別表第一號ニ依リ算出シタル金額

二 附加保險料ニ付テハ別表第二號ニ依リ算出シタル金額ヲ基準トシテ農林大臣ノ定ムル金額

第五條ノ四 農業保險法第五十六條第二項ノ規定ニ依ル日本蠶絲統制株式會社ノ負擔金ノ額ハ農業保險組合ノ組合員ガ桑葉ノ收穫上ノ損失ニ關スル共濟責任ヲ保險ニ付スル爲支拂フベキ純保險料ニ付別表第三號ニ依リ算出シタル金額トス

第六條 國庫ハ農林大臣ノ指定スル地區ニ於テ農業保險組合ガ農業保險法第三十六條第一項ノ規定ニ依リ水稻ノ冷害ニ付組合員ニ對シ共濟金ノ交付ヲ爲ス事